

1 学年より

1年生にとっては中学生活初めてとなる運動会が26日に開催されました。学年種目「台風の目」や学級対抗リレーは、クラスの団結力が試される競技でした。各クラスでは、生徒たちは前日ギリギリまで走順やテークオーバーゾーンの使い方などについて作戦会議を行うなど、勝利に向かって一丸となる姿が見られました。

1・2年合同演技の「よっちょれ」では繰り返し練習に励むことで、当日は保護者の方々にかっこよい踊りを見せることができました。とはいえ、やはり2年生や3年生にはまだまだ及ばない部分も多いです。来年、成長した姿を見るのが楽しみです。

2 学年より

中堅学年として迎えた運動会は、昨年度より迫力あるものになりました。学年種目「ダンダダン」では、各クラスがそれぞれ作戦を立て、ファーストステージ、セカンドステージに挑戦し、大接戦でした。民舞「よっちょれ」は、練習から先輩として1年生を引っ張る姿に、大きな成長を感じました。運動会の作文では、自分たちのことだけではなく、先輩の姿に感動したという言葉が多く見受けられました。来年は最上級として、多く人の心を動かす存在であるよう、成長を続けてほしいです。

運動会後は、12月の立志式に向けて動き始めました。それぞれが将来に向けて考えています。

3 学年より

中学校生活最後の運動会が実施されました。練習開始時から、多くの先生から本気になって頑張らなくてはいけないことを教えていただきました。本番までには多くの生徒がそれを自覚し、ソーラン節など見事な演技を披露してくれました。また、他学年の種目でも多くの声援を出すなど、学校全体を引っ張る姿もとても感動的でした。この姿勢を卒業式まで貫き、学校全体を盛り上げていってもらえればと思います。一方、学習面では心配なことがあります。先日実施されたスプリングコンテストです。今年度実施された社会、理科、国語と比べると、合格者数、満点数は大きく減少しています。練習期間も長く、入試に必要な基本的な知識を問うた問題です。意識を改め頑張っていきたいです。

A 組より

運動会ではA組でなく、交流学級の一員として保健体育の授業から一緒に参加して本番を迎えました。クラスの振り返りでは、「1年生の生徒は「優しくしてくれたので、仲良くなれそう」や「緊張したけどみんなと頑張れた」という感想がでました。練習から自然とA組生徒に声を掛けて一緒に活動できる場面が多く見受けられました。

副籍交流

1回目は9月に「音楽と給食」、2回目は運動会に応援に来てくれました。まだ、お互いに緊張している様子がありましたが、3回、4回と活動していくと、よりよい交流ができていくと感じております。

探究活動でワクワク

校長室より
渡邊 渉

今年は、フランスのパリでオリンピック・パラリンピックが行われました。夢や目標に向け必死に取り組んでいる選手の姿からは、多くの感動を得ることができました。その選手たちは、夢を実現するためにどれだけ努力してきたのでしょうか。オリンピックやパラリンピアンは、夢の実現に向けて、探究を繰り返してきたことと思います。

生徒が主体的に学びを深めていくために、自分で課題を設定し、それを解決していく「探究活動」が、これからの学びとして必要であると言われています。課題解決の方法としては、情報を収集・整理・分析したり、周囲の人と意見交換・協働したりすることが考えられます。生徒たちは授業中において、タブレットで調べ物をしたり、教科書、ノート、学習プリントを見返したり、自分自身から課題解決に向かっていく姿が見られます。社会科の授業では、環境問題をテーマに温室効果ガスの排出について、自分の意見を発表していました。課題を見つけて、その解決に向けて、根拠を示しながら意見を述べている姿はとても頼もしかったです。

先日開催した運動会においても、全校生徒が互いを尊重しながら、より良いパフォーマンスをするために、さまざまな課題に対して「探究」しながら取り組んでいました。

日常生活の中で、夢中になっていることや、何気なくやっていることから「なんでなんだろう」「どうしてなんだろう」と想像力を働かせてみてほしいと思います。そのような探究活動から、主体的に学ぶ力が身につく、学校での学びがさらにワクワクしてくると思います。

- 1 学年
 - 優勝 1年3組
 - 準優勝 1年4組
- 2 学年
 - 優勝 2年4組
 - 準優勝 2年1組
- 3 学年
 - 優勝 3年2組
 - 準優勝 3年4組



第33回運動会 10/26

第195号

令和6年10月31日(木)

発行

台東区立浅草中学校

〒111-0051

台東区蔵前1-3-4

TEL 03(3866)5169

HP

<https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1320115>



三味線部



10/11 文化部舞台発表会



今年は吹奏楽部の演奏に合わせて、「翼をください」を全員で合唱しました！



理科部

吹奏楽部



仁義礼智信

30 を素因数分解。2×3×5。中 1 で学習する内容です。次はどうですか。16843009。難しいですね。コンピューターを使っても安易には素因数分解できません。これを、100桁から300桁に広げたらもうお手上げです。素数(prime number)は数式では、完全に解明されていないのです。

お店でクレジットカードを使うとき、クレジットカードのナンバーに素数(公開鍵)を掛けてネットで送り、カードの持ち主を特定するのが、RSA 理論です。現金以外の支払いのほとんどがこの方法をとっています。もしも、天才的に素数の法則を解明できるのなら、簡単にその情報を手に入れることが出来ます。または、「量子コンピューター」が身近になれば、それも可能になるかも知れません。詐欺やなりすましから、自分を守るのは、「信頼」できる身近な人との「叡智」(すぐれた知恵。深く物事の道理に通じる才知)です。

ネット社会は便利ですが、必ずその後ろには、見知らぬ人がいて、ネットに接触したあなたの行動や方法や内容を監視していると思ってください。しっかりと「判断力」を身に付けて行動しましょう。

11月の浅中しぐさ

心を込めた
気遣いを
込めた

浅中しぐさ
生徒会

